

まちの話題

特集
街かどリポート

情報ピックアップ

タウントップ

HOTトピック

市政リーダー

インフォメーション

おでかけ・相談

はぐみ

栄光輝く

まちの話題



夢プランで3高校の魅力を中学生に伝える(12月18日)

市内5校の中学2年生やその保護者に向けて、市内3高校の代表生徒が自分たちの高校の魅力を紹介する「夢プラン」が開催されました。高校生は中学生からの質問に丁寧に答え、参加した中学生からは「どの高校も行ってみよう」という声が聞かれました。登壇した高校生は「3高校での生活っておもしろそう!と思ってもらえるように、楽しく盛り上げながら話すことを心掛けた。ぜひ、市内の高校を選んでほしい」と話しました。

ボール遊びの楽しさを体験(12月12日)



野球未経験者の子どもたちがボール遊びの楽しさを体験する「キッズ・ボールパーク(※)」が岡野小学校で開催。指導役を務めた篠山鳳鳴・篠山産業高校野球部の選手たちが、児童たちに投げ方や打ち方のコツなどを教えました。
(※)野球用品メーカーが連携し、開催している普及イベント。

第3回ベースボールクリニックin丹波篠山(12月22日)



小中学生と高校生の野球部員が合同に練習する野球教室が篠山中学校で行われました。これは、野球の普及をめざす日本高校野球連盟の「高校野球200年構想」に基づく活動で、2年前から行われています。この日は、市内3高校の野球部員が投打にわたり指導しました。

U-15ホッケー日本代表に選出(11月18日)

市内を拠点に活動するホッケーチーム「HC HYOGO HEARTS」に所属する杉田元さん(丹南中3年)がU-15ジュニアユースホッケー日本代表選手(18人)に選出。11月21日から24日まで開催されたオーストラリア遠征に参加されました。杉田さんは「世界一のホッケー選手をめざして、さらに努力したい」と熱い思いを話されました。



空手で全国に挑む(12月17日)



味間小学校2年生の吉田守禮さん(左)と、西紀南小学校3年生の秋葉英雄道さんが、それぞれ全国大会への出場を決めました。2人とも道場ではしんどい練習を好み、妥協をしない性格。吉田さんは「勝って賞を取りたい」、秋葉さんは「全国大会を楽しみたい」と話しました。

環境省の「自然共生サイト」に認定 パナソニックグループ労働組合連合会

■自然共生サイトとは・・・国定公園などの保護地域以外で、里地里山や企業が保有している森など、地域や企業、団体等の取り組みによって生物多様性の保全が図られた区域のこと

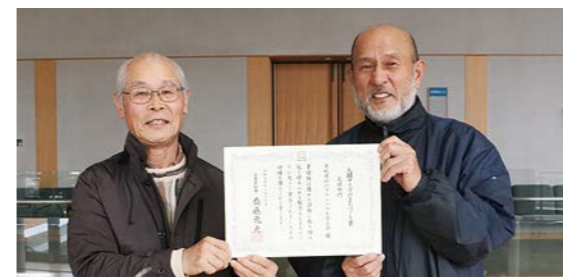


ユニトピアささやま内にある里地里山エリアが市内で初めて「自然共生サイト」に認定。棚田跡地を活用し、ため池や湿地を守ることで、多くの生きものの生息場所や産卵場所となっています。パナソニック エコリレー・ジャパンの天野康生事務局長は、「今回の認定は、これまで活動に関わっていただいた多くの皆さんの努力の積み重ねによる成果です。認定を追い風に環境教育の中心拠点として、生物多様性を学ぶ場として活用し、丹波篠山を盛り上げていきたい」と話されました。

県人間サイズのまちづくり賞(花緑部門)

知事賞

多紀連山のクリンソウを守る会



多紀連山の御嶽中腹に咲き誇る「クリンソウ」の保護活動に取り組まれています。2007年に篠山鳳鳴高校のOBらが偶然、小さな群生を目にし、専門家の踏査で大群落の発見へとつながりました。翌年には、自生地を保護しながら公開するとの方針で同会を結成。遊歩道の設置や、防護柵を設置するなど、保護に努めてこられました。細見隆夫会長は「長年の活動が認められてうれしい。群生地が市有地になったので、活用方法を一緒に考えていきたい」と話されました。

豊かなむらづくり全国表彰事業

近畿農政局長賞

大山地区農・水・環の会



農業・農村の保全活動を行う多面的機能活動組織として、2012年に10集落で活動を開始しました。各集落の課題は多様で単独での課題解決は難しく、2020年に広域協定を締結。翌年には丹波地域で初のラジコン草刈り機の導入に取り組まれたほか、郷土料理「とふめし」の伝承や、伝統野菜「天内芋」「大山スイカ」の栽培を大山小学校とともに協働で取り組まれています。伊勢隆雄会長は、「多面的に活動したことが評価され、うれしいです。今後も継続して取り組みたい」と期待を込めて話されました。

紺綬褒章 井関 道夫さん(曾地奥)



丹波篠山市への多額の寄付に対して、井関道夫さんに紺綬褒章が授与されました。紺綬褒章は公益のために500万円以上寄付した個人、1000万円以上寄付した団体に贈られます。今回の受章は、市の教育振興のために多額の寄付を行った功績に対するもので、市ではいただいた寄付を市内産木材を活用した児童用机・イスの購入などに充て、子どもたちのよりよい教育のために活用させていただきます。

なかもりしゅんすけ 中森俊介投手が母校で児童と交流(1月4日)

丹波篠山ふるさと大使を務めるプロ野球・千葉ロッテマリーンズの中森俊介選手が、母校の篠山東中学校で開催されたイベントに参加。少年野球チームのメンバー約30人とランニングをした後、キャッチボールなどで交流を深めたほか、バッティングやストラックアウトを披露し、会場を盛り上げていました。

昨年は1軍の試合で5試合に登板した中森選手。「今年は規定投球回数(143イニング)を投げられるよう頑張りたい」と意気込みを話しました。



丹波篠山「翁神事」(1月1日)



新年の訪れを告げる丹波篠山「翁神事」が春日神社(黒岡)で行われ、能舞台の改修の影響で2年ぶりに奉納されました。小鼓や笛の音が響き渡る中、金色の衣装に身を包んだ翁が、天下泰平や五穀豊穡、延命長寿などを祈願しながら、ゆったりとした舞を披露。境内に詰めかけた多くの初詣客や観衆は荘厳で優美な舞を堪能しました。

今田元旦マラソン(1月1日)



今田町上立杭で、元旦恒例のマラソン大会が行われました。西脇工業高等学校陸上競技部の皆さんが招待選手として参加したほか、幼児から大人まで153人が参加し、今田地区を元気に駆け抜けました。

漫画しげ★でん
ぎゅもまふいぬ #108
「緊急告知! あつまれ四季の森」

まめりん、ダンス動画、サイコ?、まめりん、ダンス動画、サイコ?、まめりん、ダンス動画、サイコ?

「丹波篠山」の映像祭で、全国のアマチュアから作品を募集しているよ! 応募は、

ファイナリストに残れば、10万円の大賞金がもらえるよ!!

2月2日は会場へ

★詳しくは、6・7ページをご覧ください。



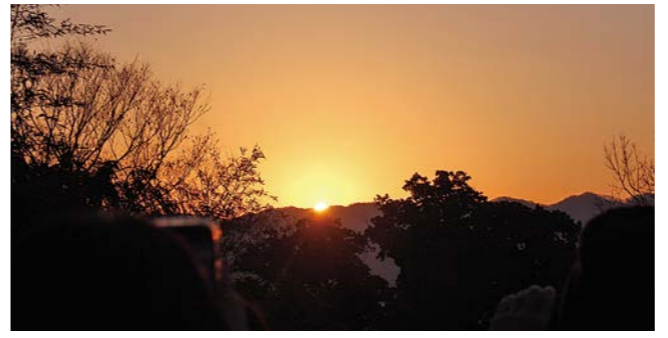
シトラスリボンプロジェクト (12月17日~19日)

コロナ禍に愛媛県で誕生した本プロジェクト。ウイルスに感染しても、差別や偏見なくだれもが笑顔で暮らせる社会をめざそうという思いが込められています。

西紀中学校がこの趣旨に賛同し、コロナ禍以降毎年リボンを作っています。今年は、西紀・大山地区の小学生に届けました。西紀中学校の井階陽人さんは、「今年は、思いやりのある地域になるようにという思いを込めて作った。カバンなど見える場所に付けてもらえれば」と話しました。

小学生たちは、リボンの編み方を教えてもらったり、中学生の手書きメッセージを読んだりして交流を深めました。

権現山で初日の出(1月1日)



権現山悠遊くらぶ、東岡屋・西岡屋自治会主催で「権現山で初日の出を迎える集い」が開催されました。権現山は初日の出が見えやすいように、権現山悠遊くらぶの方を中心にボランティアで整備されています。集まった人々は、美しい初日の出を笑顔で迎えました。

丹波篠山市民センターまつり(12月22日)



今年は80を超える団体が参加し、多くの人でにぎわった丹波篠山市民センターまつり。市民センターまつりは、自分が気になるものや好きなものを見つけることができる場であり、訪れた人々と参加団体との間ではたくさんのコミュニケーションが生まれ、人々の交流の輪が広がる機会となりました。

丹波篠山国際博
アップテンポの
デカンショ節をみんなで踊ろう!

未来へ繋ぐデカンショ祭り
DEKANSHO DANCE CONTEST
出場者大募集!!

デカンショ節の和の音色はそのままにアップテンポにアレンジした曲で、ダンスコンテストを開催します!

問い合わせ 丹波篠山国際博担当 ☎558-8891

《募集要項》
参加資格 小学生~高校生 ※居住地不問。
定員 15組 ※先着順
振り付け・音源
・動画を参考にし、課題曲で参加してください
・振り付けはそのままでも、アレンジしても可

応募締切 3月10日(月) 必着

丹波篠山国際博のオープニング!

デカンショダンスコンテスト
4月5日(土) 田園交響ホール

